



聖隷三方原病院

開設者／社会福祉法人聖隷福祉事業団
 所在地／〒433-8558 浜松市北区三方原町3453
 URL／www.seirei.or.jp/mikatahara/



病床数 940床

医師数 194名

指導医数 82名

入院患者／日 670.1名

外来患者／日 924.2名

救急医療／日 36.1名



院長
荻野和功

診療科目

総診、消内、肝内、呼、循、神内、脳卒、腎内、内分泌、ホスピス、緩和、救急、外、呼外、心外、脳外、脳管外、整、泌尿、耳鼻、麻酔、小、産、婦、精、眼、皮、放、放治、リハ、歯、病理、感染症・リウマチ、化療、血内、形成、検査



当院は浜松の中心から少し離れた郊外型の病院ですが、ドクターヘリを運用しているため超急性期の多発外傷の症例が多く、複数の診療科が参加したチーム医療を以前より行なっております。この経緯から2015年3月には「高度救命救急センター」の認可を受け、より緊急性・専門性の高い特殊疾病の受け入れを積極的に行っています。また、ドクターヘリに代表される急性期の医療に特化するだけでなく、結核・リハビリ・ホスピス・精神病棟や重症心身障害児(者)施設を持ち、地域という視点から必要とされる医療も大切に育んできております。

あわせて、当院は地域の中で中心的役割を果たすべく「地域医療支援病院」及び認知症疾患医療センター（基幹型）の認可を受けており、他の医療機関とも積極的に連携を図り、地域全体で効率的に医療をつくりあげる地域完結型の医療の追求を推進しています。

【専門医制度について】

専門医制度において、当院では内科・外科・小児科・救急科・精神科・麻酔科・泌尿器科・総合診療の『8領域の基幹施設』としてプログラムを用意しています。初期研修から継続し、豊富な症例数のもと、充実した研修を行える環境を整えています。また『基本19領域のほとんどの領域において連携施設』として参加しています。

今後もさらに多くの基本領域だけでなく、サブスペシャルティ領域における基幹施設としても体制の充実を図り、多様な専門医を目指せる環境を提供できるよう努めていきます。

処遇

身分	初期研修医（聖隷福祉事業団職員）			
給与	1年次基本給／月	329,988円	2年次基本給／月	381,750円
	1年次賞与／年	—	2年次賞与／年	—
	諸手当	通勤、扶養、住宅、日当直手当(100,000～140,000円／月程度)		
	1年次基準支給額／年	3,959,856円	2年次基準支給額／年	4,581,000円
宿舎	病院所有物件または賃貸住宅		当直	5回程度
保険	医師賠償責任保険加入義務有（※一部半額補助制度有）、各種社会保険			

臨床研修医（初期研修医）の研修プログラム

- **プログラム名** 聖隷三方原病院 臨床研修プログラム
- **募集定員** 15名（予定）（令和3年度採用数 15名）
- **協力型病院** 聖隷淡路病院、聖隷浜松病院
- **協力施設** 浜松市国民健康保険佐久間病院
医療法人徳洲会 沖永良部徳洲会病院

プログラムの特色

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次スケジュール	総診	内科	内科	内科	外科	小児科	小児科	救急科	救急科	産婦人科	麻酔科	精神科
2年次スケジュール	総診	内科	救急科	地域医療	選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	選択⑥	選択⑦	選択⑧

- 必須内科は次の4科を2年間でローテート（総合診療内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器科）
- 1年次の外科は次の5科から1科選択研修（外科・整形外科・呼吸器外科・脳神経外科・心臓血管外科）
- 外科は4週→8週相当の研修期間へ変更可能
- 小児科は、1年次に8週相当の研修期間としER当直での研修医ファーストタッチにも対応できる研修を実施
- 精神科研修も含め、地域医療研修以外はすべて院内で研修可能
- 外来研修は院内では主に総合診療内科等にて実施
- 地域医療研修は次の病院から選択（聖隷淡路病院、佐久間病院、沖永良部徳洲会病院）

【研修医からのメッセージ】

当院は2年目14人、1年目15人の29人（2021年度）で研修を行っています。
 全国、北は北海道、南は福岡まで日本全国から当院で研修するために集まっています。
 私自身、静岡県に縁もゆかりもないですが、この病院に魅かれ、医師としてのスタート地点としてこの病院を選びました。
 そんなこの病院についてご紹介したいと思います。

多くの医学生の皆さんが当直について気になるのではないのでしょうか？
 現在私たちは月5回ほどのペースで日当直勤務（日直1回、当直4回程度）をさせて頂いています。
 1年目の主な仕事はウォークインでくる患者さんのファーストタッチです。
 学生の頃は「救急車をたくさんみたい!」となんとなく思っていたのですが、実際に研修をはじめるとウォークインでくる患者さんを診ることの大事さを痛感します。

歩けるから軽症、なんて学生の時思っていたのですが、軽症の患者さんはもちろん、隠れている重症の患者さんを問診と身体診察、検査を用いた的確な対応をすることの難しさを痛感しております。日々先輩、同期と経験した症例について話し合い、情報交換しながら少しずつ勉強しています。

国家試験の問題に出てきたような机上の症例ばかりではない、生きている症例を経験させていただいています。
 当直で困ったときは上級医の先生や、2年目の先生、看護師さんに助けられ、できなかったことを反省し次につなげる、成長を感じる毎日を過ごしております。

また当院は多くの診療科を抱え、中でもドクターヘリやホスピス科は他院ではあまり見られない特長であると思います。
 病床数も一般816床、精神104床、結核20床と計940床と非常に大きい規模で患者さんを受け入れています。
 研修医にとっては、将来進みたい診療科が決まっている方はもちろん、決まっていない方には多くの選択肢を与えてくれる病院であると思っています。これも当院の大きな魅力の1つではないでしょうか。

「自分のできることをもっと増やしたい」
 そんな風に感じさせてくれる環境が当院にはあると私は思っております。
 医学生の皆さんの見学を楽しみにしております。

応募手続

応募資格	2023年卒業見込み、もしくは既卒の者			
必要書類	専用エントリーシート(当院HPよりダウンロード)・成績証明書・OSCE・CBT			
募集締切	各試験日の10日前までに郵送にて必要書類を提出（予定）			
選考方法	面接 ※詳細はホームページにて確認してください。			
選考時期	2022年7～8月実施予定（4～5回）			
応募連絡先	担当課	臨床研修センター	担当者	大岩・豊田
	T E L	053-439-1381	F A X	053-439-1382
	E-mail	mk-kensyu@sis.seirei.or.jp		